

フロント シリンダ:

イグニッション コイル一次線を接続した状態で、一次線黒/黄端子とボディ アース間にピーク ボルテージ アダプタを接続する。

メイン スイッチをONにし、キル スイッチをRUNにする。  
キックして、イグニッション コイル一次電圧を測定する。  
リヤ シリンダ側についても同様に点検する。

接続方法

フロント シリンダ: ⊖ 黒/黄～ボディ アース ⊕

リヤ シリンダ : ⊖ 黒/青～ボディ アース ⊕

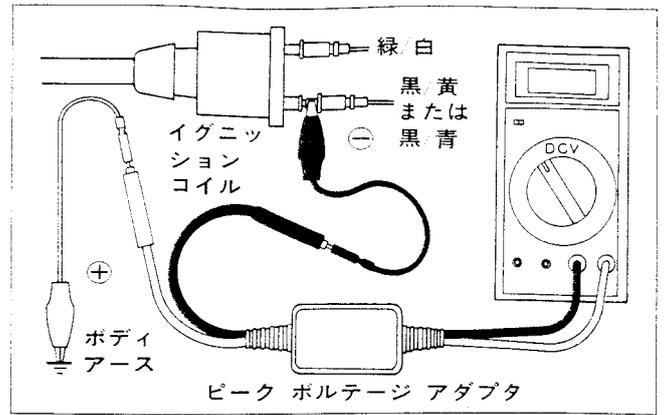
ピーク電圧 : 300V以上



電圧測定時にプローブの金属部に指が触れると、感電することがある。指が触れないように注意すること。



- ・他の点火システムの配線外れや、接触不良があると異常な値が表示されることがある。
- ・それぞれのイグニッション コイルの一次電圧が、異なる場合があるが、それぞれに規定値以上の電圧があれば良好である。



パルス ジェネレータ



スパーク プラグをシリンダ ヘッドに取付け、圧縮圧力がある状態で点検すること。

メイン スイッチをOFFにする。  
シート カウルを取外す。

エンジン コントロール ユニットから16Pと4Pカプラを外し、ハーネス側カプラのパルス ジェネレータ線、4P側の青と16P側の白/青にピーク ボルテージ アダプタを接続する。  
キックしてパルス ジェネレータ ピーク電圧を測定する。  
白/黄端子についても同様に点検する。

接続方法

No.1 ⊕ 16P 白/黄-4P 黄間 ⊖

No.2 ⊕ 16P 白/青-4P 青間 ⊖

ピーク電圧: 2V以上



- ・片側のパルス ジェネレータが不良の場合、両気筒のスパーク プラグに火花が出なくなる。
- ・各々のパルス ジェネレータの測定電圧が異なる場合があるが、それぞれに規定値以上の電圧があれば良好である。

